

冬の厳しい寒さもようやく和らぎ、芽吹き始めた木々や暖かな日差しに、春の訪れが感じられるようになりました。本日は、私達の卒業に際し、このように素晴らしい卒業式を挙行していただきましたこと、また、お忙しい中ご臨席を賜りました清水学長をはじめ、先生方ならびにご来賓の皆様方に、卒業生一同、心より厚く御礼申し上げます。

期待と不安を胸に迎えた入学式。あの時と同じこの場所で、私達は今日卒業の日を迎えました。あの日、これほど充実した大学生活が始まろうと誰が想像できたでしょうか。

ここ武蔵大学には、素晴らしい環境が整っていました。すすぎ川のほとり、新緑や紅葉に色づくキャンパスを歩くと、都会の喧騒を忘れることができ、心穏やかに日々勉強に励むことができたのは、ささやかな、しかし、心の底からの喜びです。また、全国的にも例の少ない金融学科に入ることができ、充実したカリキュラムの下、それまではテレビや新聞の向こうの世界でしかなかった金融について学び、吸収していく毎日は、知的好奇心を刺激される楽しいものでした。時に、授業を通して学生ながらに金融の実務を垣間見ることができたのは、本学科に身を置いていたからこそだと感じています。

そして、一年次からゼミに所属し興味のある分野について専門的に研究できる環境は、学術的な知識以外にも多くのものを与えてくれました。自ら調べ自ら考える力を養えたことは勿論、行き詰った時ゼミ生と意見を出し合い解決を図るプロセスは、一丸となって何かを為す面白さと、集団内での意思決定や情報共有の難しさを教えてくれました。こうした力を、一年次と言う早い段階から鍛えることができたのも、ゼミの武蔵ならではのです。もちろん、これはゼミに限らず部活動、サークル、白雉祭など他の場面でも言えることだと思います。

そして何より、大学生活におけるたくさんの人との出会いは、多くの感動と成長をもたらしてくれた、かけがえのない財産です。仲間と苦楽を共にし、分かち合う喜びの大きさを知りました。また、授業とは別に先生方から教えて頂いたことや新たな友人との出会いを通して知る世界は、新鮮で興味深く、そのどれもが自分という人間の幅を広げてくれたように思います。卒業という別れのときに臨んで熱く込み上げてくるものはありますが、この繋がりが末永く続くことを願ってやみません。

四月からは、それぞれが新たな環境へと一步を踏み出します。ここ武蔵大学で多様な経験を積み卒業を迎えるという誇りを胸に、これまで得たものを糧として、社会に貢献できる人間になることを目指し、卒業生一同今後とも邁進して行く所存です。

最後になりますが、厳しくも温かいご指導をくださいました諸先生方、様々な場面で学生生活を支えて下さった職員や関係者の方々、右も左も分からぬ私達に行くべき道を指し示して下さった先輩方、時に頼もしく笑ってついてきてくれた後輩、そして共に切磋琢磨し、助け合い、喜びを分かち合った同級生たちに心から感謝します。ま

た、これまで私達の成長を見守り、深い愛情を注いでくれた両親や家族に、同じくらしいの愛情と感謝の気持ちをも、この場を借りて送ります。たくさんの方の支えや励ましがああり、私達はこうして卒業できました。改めてお礼申し上げます。そして、皆様のさらなる御活躍と御多幸、また、武蔵大学がより一層の発展を遂げることを祈念いたします。答辞とさせていただきます。

平成二十六年三月二十二日

武蔵大学 第六十二回卒業生代表
経済学部金融学科 倉上綾芳